

WELLBEING

指導部通信

Date:2026.Jan.22 Vol.29

丸岡南中学校生徒指導部

文責：荒井啓臣

スマホの向こうにある「本当の重さ」を考えてほしい

最近、学校の中で起きた暴力行為を撮影し、その動画をSNSに投稿するという、非常に深刻な問題が相次いでいます。「ふざけていた」「ノリだった」「面白いと思った」そうした軽い気持ちが、取り返しのつかない結果につながることがあります。

① 撮ること・広めることも「加害」になる

暴力をふるうことは、もちろん許されません。しかし、それを止めずに撮影したり、SNSに投稿したり、拡散したりする行為も、場合によっては大きな問題

になります。内容が悪質な場合、人を傷つけたとして「傷害」、その場をあおったとして「現場助勢」などの罪に問われる可能性もあると指摘されています。「自分は殴っていないから関係ない」、そう考えるのはとても危険です。

② 一度ネットに出た動画は、消えない

SNSに投稿された動画は、あっという間に広がります。誰かが保存し、誰かが別の場所に載せ、気づいたときには自分の手を離れてしまうのです。被害にあった人は、知らない人にまで見られる。何度も思い出させられる学校だけでなく、その先の人生にも影響が出るそんな苦しみを背負うことになります。画面の向こうにいるのは、感情をもった一人の人間だということを、決して忘れてはいけません。

③ 数字が示す、見過ごせない現実

令和6年度、小学校・中学校・高校で確認された暴力行為は、過去最多を記録しました。学校現場は急速にデジタル化し、スマホやSNSは身近な存在になっています。しかし、「どう使うか」「使ってはいけない場面はどこか」こうした判断が、まだ十分に身についていない現実も見えてきています。便利な道具は、使い方を間違えると、人を深く傷つける凶器にもなります。

④ 本当に強い人とは、どんな人か

その場で笑いを取る人でしょうか。注目を集めの人でしょうか。いいえ、本当に強い人とは、間違っていることを「おかしい」と言える人、撮るのではなく、止めようと動ける人、困っている人の側、すなわち弱い人側に立てる人です。スマホを向ける前に、投稿ボタンを押す前に、一度立ち止まって考えてください。「もし、映っているのが自分だったら?」「もし、家族だったら?」

⑤ 学校は、安心して過ごす場所であってほしい

学校は、失敗しながら学び、やり直せる場所です。しかし、人の尊厳を踏みにじる行為や、それを広める行為は、決して「やり直しがきく失敗」ではありません。一人ひとりの判断が、学校の空気をつくります。あなたの行動が、誰かを守る力にも、傷つける原因にもなるのです。スマホの向こうにある重さを、今一度、自分のこととして考えてほしい。それが、これから時代を生きる皆さんに、強く伝えたいことです。

学校現場で生徒が暴行される動画の投稿が相次いでいる

学校	撮影時期	内容
福井県立高	令和5年	生徒が別の生徒を殴ったり蹴ったりする様子
大分市立中	7年7月	体操服姿の生徒が別の生徒の頭部や体を一方的に殴ったり蹴ったりしている
栃木県立高	7年12月	生徒が複数の生徒に取り囲まれ、1人から一方的に殴られたり蹴られたりしている
熊本県山都町立中	今月9日 投稿	生徒が複数の生徒に取り囲まれ、一方的に頭を蹴られたり首を絞められたりする様子

勉強して強い人になる

これまで「『勉強』や『進学』の意味や価値について、真剣に考えて答えを見つけてみてください。」とお願いしましたが、自分なりの答えは見つけられましたか？これは大人にとっても、そして先生たちにとっても実は難しい問題であり、常に考え続けなければならないことなんだなあと思います。先日、3年生の模擬面接をしていて、自分の進路をしっかりと切り開こうとしているなと面接に向かう視線から強く感じることができました。最後の最後まで、全員の進路が決まるまで3年生には団体戦で精進してほしいです。そして、納得できる進路、輝くような勉強をしましょう！



私事ですが、年末・年始にかけて、「ソバニイルヨ」（喜多川泰／幻冬舎）という本を読みました。面白かったですよ！勉強が嫌いで、周囲の目ばかり気にして日々過ごしている男子中学生が、あることをきっかけに自分らしく、力強く生きていくという物語です。みなさんに、絶対オススメです。ぜひ、読んでみてください！この物語の中に、中国の思想家・荀子の言葉が出てきます。

君子の学は通ずるが為に非す。窮するも困します、憂うるも意衰えず、禍福終始を知りて心惑わざるが為なり。



「君子」というのは、立派な人っていう意味です。立派な人になろうとする人にとって、学習というのは出世したり、高い地位を得たりするためのものではないって言っているんです。人生において追い詰められるような状況がやってきたとしても、たじろいだりしない。逆境に陥ったり自分に不利な状況が重なったりしても、やる気を失わない。嬉しいことや、苦しいことは、どちらか一方がやってき続けるわけじゃなく、いつも表裏一体で循環しているという人生法則を理解して、心があっち行ったり、こっち行ったりしないようにする。そのために勉強という道具を使うんだぞ、と言っているのです。多くの人は、勉強するときに「勉強しないと将来困るぞ」と言われます。だったら…中学校や高校で勉強を頑張って、優秀な成績を収めて大人になった人に、「大人になって、困ったことはないですよね？」と聞いてみてください。「そんなバカなこと、あるわけないだろーっ！」って言われますよ（笑）。勉強したって、しなくたって困ったことはたくさんやってきます。勉強することによって、将来困った状況に会わないようしようって思っても、そんなことは不可能であることを周りの大人が証明しています。勉強によって、出世したり、より安定した仕事に就こうと考えている人がたくさんいます。そうすれば、追い詰められる状況も来ないし、逆境や自分に不利な状況も回避できると考えているのかもしれません。でも…実際には違います。

勉強しても、しなくとも、私たちの人生にはいろんなことが起こります。逃げ場のない状況になったり、逆境に陥ったりすることもあります。「なんで俺ばっかり…」って思っちゃう不幸な出来事が続くこともあります。でも、そんなときにたじろいで勇気をなくしてしまったり、心が折れちゃったり、絶望して明るい未来を想像することさえできなくなってしまった…それこそ不幸な人生です。

勉強すると、多くの知識や技術を手にします。同時に、多くの力を身につけていきます。困難な問題に立ち向かう勇気、あきらめない強い心、最後までやり抜く気持ちと行動力、努力したのに成績が落ちても「次がんばるぞ」と前向きに考え方行動する力、ひたすらに努力する姿勢…。勉強から逃げた人は、結局何をやっても逃げる人になっちゃいます。勉強に立ち向かった人は、何をやっても力強く前に進むことができる人になる、そんな気がするのです。恐れず言うならば「勉強しないと将来困る」はウソです。でも困った状況になったときに、逃げるか、立ち向かえるかは違います。もっと言うならば、勉強した人の方が困った状況はたくさんやってくるはずです。勉強した人は、高い目標を持って生きていくだろうし、その目標が高ければ高いほど、乗り越えるべき課題は多く、たくさんの困った状況がやってくるのです。

勉強して「窮するも困します、憂うるも意衰え」ない、強い人になってくださいね。